

婦団連通信

Fudanren newsletter

第3号

2023年1月1日

日本婦人団体連合会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-11-9-303

TEL : 03-3401-6147 FAX : 03-5474-5585

URL : <http://fudanren.biz/>

婦団連創立70周年 憲法を守り生かす政治を

新年おめでとうございます



婦団連は、今年創立70周年です。「平和を願う女性の力を一つに」と朝鮮戦争のさなかの1953年4月5日に結成され、女性の生活と権利・地位向上、ジェンダー平等の実現、子どものしあわせ、平和と独立、民主主義の実現のために運動してきました。

現在は、女性団体をはじめ様々な分野の女性組織及び地域組織が加盟する「女性の恒常的な共闘組織」として23団体が結集しています。また、国際民主婦人連盟(WIDF)の執行委員団体として活動しています。国際婦人年連絡会、日本女性差別撤廃条約NGOネットワーク(JNNC)、女性差別撤廃条約実現アクションなど幅広い共闘組織での役割も重要です。

岸田自公政権は、国民が反対するなか敵基地攻撃能力(反撃能力)の保有などを安保関連3文書に明記する閣議決定をしました。仮想敵のミサイル発射拠点などを攻撃する能力を保有することは、歴代政権が長年「建前」とし

てきた「専守防衛」を投げ捨て、憲法9条及び国際法違反となる先制攻撃に踏み込んでしまう可能性をはらんでおり、認めることはできません。軍事費を5年で43兆円にする大軍拡となります。コロナ禍や急激な物価高騰に国民生活は厳しくなっています。教育費、社会保障費を減らし増税が狙われています。大軍拡ストップ、くらし・福祉優先の政治へと運動を広げましょう。

自民党と統一協会(世界平和統一家庭連合)の「癒着」も深刻です。改憲やジェンダー平等政策のゆがみに大きな影響を与えています。徹底説明と被害者救済が求められています。

ロシアによるウクライナ侵略が続いています。軍事対軍事では平和は実現できません。憲法9条に基づく平和外交が今こそ求められています。

ジェンダー平等実現に向け、今年もシエンダー4署名にとりくみます。大きく成功させましょう。

今年には統一地方選挙の年です。憲法と女性差別撤廃条約に基づく平和・ジェンダー平等社会の実現、政治の転換を求め、女性の共同を広げましょう。

女性に対する暴力撤廃国際デー

女性に対する暴力撤廃に向けた国際キャンペーンが、11月25日の女性に対する暴力撤廃国際デーから12月10日の世界人権デーまで世界各地で展開されました。



9団体23人が参加して、衆議院第2議員会館前でリレートーク。本村伸子衆院議員、仁比聡平参院議員が連帯のあいさつ。2022年11月28日



賛助会員のお願い

婦団連の活動を維持・発展させるため、賛助会員としてご支援・ご協力くださいますようお願いいたします。賛助会費は月1口(1000円)から申し受け、賛助会員のみなさまには、「婦団連通信」、「女性手帳」、催しや出版物のご案内等をお送りいたします。

申し込みはFAX等で